

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成29年11月22日（水）午後6時30分～8時10分

【会 場】鳥沼会館

【対象地域】鳥沼・大沼全域

【出席者】14人

【記録者】北條

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	<p>鉄道については、それぞれの立場でいろいろな考え方があると思う。国に責任はあると思うが、国鉄が分割民営化されたことで、JR北海道にも責任はある。人口減少が進む中で、利用者は利便性の良い高速バスを利用したりと、時代の流れで交通状況が今日に至っているものと思うが、やはり国に責任を求めていくべきだと思う。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
総務部	<p>乗降者数が市の調査とJR北海道の調査で、数字に開きがるが、なぜこんなに違うのか。</p>	<p>【企画振興課長】JR北海道では、毎年1年に1回調査を実施しており、観光客が少なく乗降客数の波動があまりない11月に実施している。市としては、波動のない月だけではなく、観光客も含めた夏・冬の乗降客数を独自に調査したところである。また、輸送密度の数字は、乗り降りした人数ではなく、切符の販売実績から計算した数字となっている。</p>
総務部	<p>富良野線を利用しているが、日常的にはもっと乗客が乗っているような気がする。乗客が少ないというより、JR北海道の経営内容に不備があるような気がする。また、観光客に対しては運賃を安くしたりしているので、そういったことも見直さないといけない。毎日利用している人には安く利用できるようにした方が良くと思う。まずは利用者の声を反映すべきである。JR北海道がこんなに赤字になっていることには驚いたが、赤字の額も私たちではどうにもならない額である。</p>	<p>【市長】JR北海道が経営戦略において、長年にわたり累積赤字を積み重ねた結果、昨年11月に単独で維持することが困難な路線を発表してきた。利用者や関係自治体に負担を求めるような形になっているがそういった状況において、北海道の立ち位置がまだ見えない状況がある。日高線も1億8千万円程度でバスに転換できるという話が出ており、路線ごとに話が進むと、最終的には廃止する方向になる恐れがある。地域住民の機運を高め、国に対して訴えていくことが重要であり、世論を動かすためにも署名活動なども検討する必要がある。また、JR北海道においても利</p>

<p>総務部</p>	<p>JR北海道についてはいろいろな話は出てくるが、JR貨物の話が出てきていない。貨物費用でかなりの収益があるはずである。電気料などもそうだが、赤字になるとすぐに利用者へ負担を求めするのは考え方が少し違うと思う。夕張方式もあるが駅舎の除雪など外注しているものを見直すなど、JR北海道自体が襟を正すべきではないか。JR北海道として改善策を出すべきと考える。</p>	<p>用してもらうための努力が必要であると考え。北海道もインバウンドで外国人観光客を増やしていくと言っているが、鉄路がなければどのように人を運ぶのか。今後、北海道として交通体系をどうするのかということ国に訴えていかなければならないと考える。</p> <p>【市長】国鉄が分割民営化された時点で経営安定基金が積み立てられたものの、利息による運用では赤字になることがわかっていたのではないかと感じている。そういったことから国には責任があるものと考え。しかし、国に対して責任を訴えるだけでは話が前に進んでいかないので、北海道全体として協力できる部分を提示していくことも一つの課題の解決手段だと考える。また、飛行機やバスなどさまざまな交通体系がある中で、北海道として将来的にどのような交通体系にしていくのかを示さなければ、路線ごとに議論しても解決する方向には進んで行かないと考える。富良野市では駅舎のトイレ改修に協力しており、除雪についても行政としてできないことはないので、そういったことで地域として協力できることも示していくことが必要であると考え。</p>
<p>経済部</p>	<p>農業は今、労働力不足が課題となっている。労働力の確保として中国人に手伝ってもらうケースが増える中、宿泊する場所を自分たちで探すなど、そういった面でも労働者は苦勞している。これからは外国人の労働力が必要になってくると思うので、そういったことも含め、農業者に負担にならないような総合的な相談窓口を作ることはできないか。</p>	<p>【市長】農業における労働者不足は重要な課題の一つと認識している。8時間労働は難しいが、短時間であれば子育てママでもできる状況となっており、今年から5戸の農家に12人の子育てママたちが働いている。外国人の労働力も必要であるが、このような形で労働力を確保するとともに、時間のある高齢者に対しても声かけするなどして、労働力を確保する状況づくりをしていく必要があると考える。来年から農業関係団体などと労働力確保に向けて協議していきたい。また、東川町では宿泊施設として学校を利用しており、既存の施設を利用する方法も検討していく必要がある</p>

建設水道部	市道7・8線道路の段差を解消できないか。また、未舗装の市道はいつ舗装するのか。	<p>と考える。</p> <p>【建設水道部長】昨年も要望があり整備を予定していたが、昨年の台風の影響により、市全体の市道の損傷が予想以上に多く、整備ができない状況となったが、来年に向け地域要望の優先順位を含めた中で整備するようにしていく。また、砂利道の箇所については、他地域の要望とのバランスを考慮しながら進めていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。</p>
建設水道部	市道の5号道路は毎年グレーダーをかけているが、1，2回では穴が埋まらないので、もう少しグレーダーをかける回数を増やしてほしい。また、2号道路の橋の上の整備もお願いしたい。	<p>【建設水道部長】現地の状況を確認しながら対応する。</p>
建設水道部	市道の整備は財政的に難しい面があり、優先順位で整備するのは理解するが、整備後に一部ですぐに道路が陥没してしまう現象がみられる。せっかく整備してもすぐにそういった現象が起こり無駄になってしまうので、例えば、地域の人たちが了解していただければ、舗装をはがした後にすぐに舗装工事をするのではなく、路盤が落ち着いてから舗装工事を実施してみてもどうか。	<p>【建設水道部長】農業の関連工事により1年ですべて整備することがあり、整備の方法についてはご提案の内容を含め、担当者と協議していきたい。</p>
建設水道部	市道の5号はグレーダーをかけるのみで、砂利が畑に飛んでくるので、砂利は入れないでほしい。	<p>【建設水道部長】グレーダーのみとする。</p>
建設水道部	どこの地域でも問題になっている空き家対策について、農村地区にも空き家が出てきている。人が住んでいないと、キツネなどの動物が住みついたり、壊れた屋根が飛んでくることもある。しかし、家を壊すためには費用がかかることから、そのまま放置されるの	<p>【建設水道部長】空き家については農村地域に限らず市街地域でもお話がある。基本的には個人の財産となるが近隣に迷惑がかかる状況になれば、所有者を特定し対処してもらうようにしている。しかし、解体する場合は費用がかかるなどの状況もあること</p>

	<p>が現状だと思うが、行政として空き家を何とかする方法があれば知恵を貸していただきたい。</p>	<p>から、市として費用に対して 20 万円の助成をしている。営農などに支障のある空き家があれば、都市建築課へ相談していただきたい。</p> <p>【市長】市内には調査した時点で 450 戸の空き家があり、行政として所有者や管理者を把握する必要があると考えている。市街地では市で空き家を解体し、所有者に解体費用を請求している事例もあり、危険な空き家については今後条例の制定を含め検討していきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>ベベルイ川の浚渫工事が行われているが、単年度事業であるため継続して整備するようにして、川の中洲の土をすべて撤去してほしい。ヌッカクシ富良野川で北 3 号から下流に雑木が生えており、災害の原因になるので、北海道に処理を要望してほしい。</p>	<p>【市長】国や北海道に対しては毎年春と秋に要望活動を実施しており、上富良野町など上流側からの整備をはじめ、空知川の岩盤を下げていくことも必要であり、河川については富良野市だけの問題ではないことから沿線自治体と連携しながら継続して要望活動をしていくとともに、北海道議会議員を通じて働きかけていきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>昭和 40 年ごろに岩盤を下げた後、何もしていない状況ではあるが、農業排水や水の流れは良くなっている。しかし、川は幅広く深くしていかなければならないと思うので、継続して要請活動をしてほしい。去年の台風の被害もあることから、整備をしていくタイミングは今だと思う。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>経済部</p>	<p>スマート農業の自動換気システムはすばらしい仕組みである。労働力や効率性を考えながら農業を続けていく上で、今後も必要な事業である。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>経済部</p>	<p>農業の労働力として、子育てママと合わせて高齢者や養護施設の人たちなど、働ける人材の情報提供があれば労働力を確保できると</p>	<p>【市長】短時間であれば働くことは可能であると考えている。子育てママに関しては受け入れている農業者の評価は高いと聞いてい</p>

総務部	<p>思う。また、受け入れ側もあまり大変で難しい作業をさせないことも考える必要があると思う。</p> <p>光回線の導入について、鳥沼地域は過去に加入のアンケート調査をした際に、必要としている人が少なく断念した経緯があるが、年代別では考え方はかなり差があると思う。これからの若い世代の人たちには光回線が必要だと思うので、導入に向けて検討していただきたい。</p>	<p>る。</p> <p>【経済部長】人それぞれの働き方に合わせて労働力確保ができるように、子育てママを含め今後も取り組んでいきたい。</p> <p>【総務部長】今年は、防災や教育の観点における学校などの拠点施設まで整備を実施している。来年の4月から供用開始となり、回線から150メートルの範囲については各家庭への回線の引き込みが可能となっている。</p>
-----	---	--